

Report

2015

北上信用金庫 平成26年度

総力発揮!!

～成長と安定のバランス経営をめざして～

北上信用金庫のミニディスクロージャー

みえ  
#

# 見えしんきん

お客様や地域の成長・発展を支援し、  
「つなぐ力」を発揮する



KITAKAMI SHINKIN BANK  
REPORT 2015

北上信用金庫の現況

この街と生きていく。



北上信用金庫

# 経営理念

## 信用金庫とは

信用金庫は、中小企業や地元の方々を会員とする協同組織形態の金融機関で、地域の中小企業の経営や住民の生活に役立つ金融商品や金融サービスの提供に努めています。

協同組織金融機関は、会員の相互扶助を基本理念とする非営利法人で、信用金庫は、融資については原則として会員に限定されていますが、その他の業務については、預金、為替、公共料金などの金銭収納、保険の窓販等、一般の銀行とほとんど変わらない金融機能を備え、会員はもとより、会員以外の方とも広く取引しています。



## 経営理念

地域金融機関として

「中小企業の健全な発展」

「住民生活の向上」

「地域社会の繁栄」

の実現に貢献する

それが為われわれは、

相協力して経営をより堅実な発展性のあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して職場をより明るい、楽しい働きがいのあるものにしよう。

それが為われわれは、

相協力して自分をより高い豊かな教養のあるものにしよう。



## 当金庫の姿勢

当金庫は、昭和23年9月の創業以来、協同組織の金融機関として長年にわたり地域に根ざし、「地域金融機関として『中小企業の健全な発展』、『住民生活の向上』、『地域社会の繁栄』の実現に貢献する。」を経営理念に掲げ、相互扶助の精神を常に念頭におき、地域社会との共存共栄を図りながら、社会的使命とその役割を果たしてまいりました。

この姿勢は、今後も何ら変わることなく、地域の皆様から「愛され」、「信頼される」地域金融機関として、健全経営に徹するとともに、より一層の良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。



## 信用金庫法（施行昭和26年6月15日）

（目的）

第一条

この法律は、国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資するため、協同組織による信用金庫の制度を確立し、金融業務の公共性にかんがみ、その監督の適正を期するとともに信用の維持と預金者等の保護に資することを目的とする。



# 業績のご案内

## 平成26年度事業の概況

昨年の国内経済は、消費増税後の下振れ影響はあったものの、日銀の追加金融緩和及びアベノミクス効果の浸透により、企業の景況感は底堅く推移し、輸出や設備投資の持ち直しで景気回復基調を取り戻し、デフレからの脱却の動きを推し進めました。

当地域経済においては、公共投資は復興関連工事を中心に堅調に推移しており、住宅関連投資は消費増税後の大きな落込みから徐々に回復しつつあります。個人消費は消費増税の駆け込み需要の反動減から、雇用・所得環境の改善及び原油安が消費を下支えしているものの、全体として持ち直し傾向で推移しております。

こうした経営環境のなか、当金庫は長期3ヵ年経営計画第2次「しんきん『つなぐ力』発揮」GOING KITAKAMIの最終年度として、課題解決型金融の強化・独自性のさらなる発揮・永続性のある経営の確立を基本方針として一層の地域貢献を果たすべく、取引先・会員への安定した資金供給や利便性の向上に向けた施策を積極的に取り組んで参りました。

地域貢献事業については、「きたしん次世代経営塾」の継続実施や各種ビジネスマッチへの積極的な参加に加え、平成24年度発足した「西和賀町観光振興コンサルティング事業」の検討委員会を経て、「西和賀777会議」を組織し具体的な活動施策に取り組んでおります。

このような地域密着金融を通じて、地域社会との信頼関係を一層深め、持続的発展が可能な地域社会づくりと、地域の皆様にお役に立つ貢献活動を行って参りました。

また、27年3月に本部組織を改正、新たに「総合支援部」を創設し、経営改善・相談等の企業支援と地方創生に向けた地域支援を積極的に取り組んで参ります。

これらにより、当期末の預金積金は期中平残で前期比1,773百万円増の86,511百万円、期末残高においても前期比1,710百万円増の81,083百万円と順調に推移しました。一方、貸出金は設備投資の需要停滞のなか、住宅ローン等個人向け貸出、地方公共団体等の増加で、期中平残で前期比983百万円増の46,371百万円、期末残高でも前期比1,071百万円増の46,710百万円となりました。

収益面では、コア業務純益ベースで前期比126百万円増の485百万円、当期純利益161百万円の計上となりました。

自己資本比率は、前期比0.40ポイント増加の16.49%となり、国内基準の4.00%を大きく上回る高い水準を維持しており、引き続き健全な資産状態にあります。

また、当金庫では「内部統制基本方針」に基づきガバナンスやコンプライアンス態勢、リスク管理態勢等、内部管理態勢の更なる充実・強化に努めております。

今後においても当金庫は、円滑な金融仲介機能の発揮とコンサルティング機能の強化により、中小企業の育成や再生支援に取り組み、引き続き質の高いサービスを提供し地域社会の繁栄に貢献してまいります。

今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 主な経営指標

### ◎最近5年間の主要な経営指標の推移

	第63期 平成22年度	第64期 平成23年度	第65期 平成24年度	第66期 平成25年度	第67期 平成26年度
経常収益	1,845,319千円	1,911,670千円	1,768,362千円	1,920,098千円	1,755,643千円
経常利益（又は経常損失（△））	356,395千円	300,544千円	△ 194,410千円	150,993千円	200,995千円
当期純利益（又は当期純損失（△））	87,058千円	83,250千円	△ 392,794千円	134,869千円	161,591千円
出資総額	293百万円	304百万円	308百万円	313百万円	319百万円
出資総口数	586,728口	608,442口	617,604口	627,958口	638,076口
純資産額	5,752百万円	5,905百万円	5,731百万円	5,639百万円	6,016百万円
総資産額	81,820百万円	85,457百万円	85,364百万円	86,424百万円	88,473百万円
預金積金残高	75,412百万円	77,835百万円	78,015百万円	79,373百万円	81,083百万円
貸出金残高	45,175百万円	45,867百万円	45,307百万円	45,639百万円	46,710百万円
有価証券残高	15,227百万円	15,034百万円	16,315百万円	12,948百万円	16,603百万円
単体自己資本比率	16.43%	16.19%	15.92%	16.09%	16.49%
出資に対する配当金 （出資1口当たり）	11,647,890円 （20円）	11,959,607円 （20円）	12,189,763円 （20円）	12,443,201円 （20円）	12,601,450円 （20円）
役員数	12人	12人	13人	12人	12人
うち常勤役員数	7人	7人	7人	6人	6人
職員数	102人	101人	95人	104人	102人
会員数	9,721人	10,133人	10,479人	10,724人	11,068人

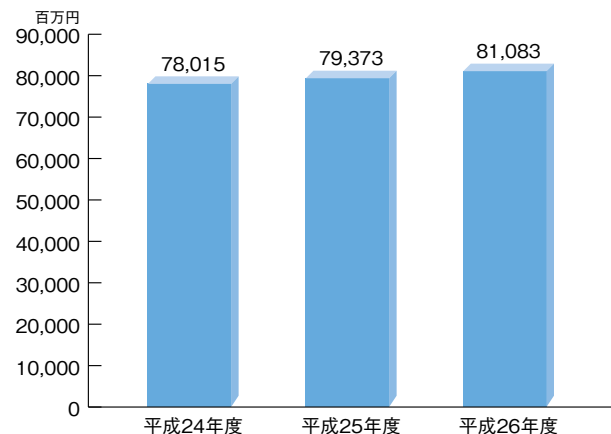
（注）残高計数は期末現在のものであり、総資産額には債務保証見返は含んでおりません。また、総資産額から貸倒引当金を控除して表示しております。

（注）平成25年度以降の自己資本比率は新自己資本比率規制（バーゼルⅢ）に対応した値です。

# 業績のご案内

## 預金積金の状況

■ 預金積金残高の推移



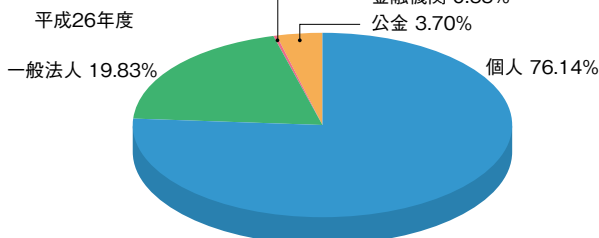
預金積金は、みなさまから信頼いただいているあかしです。

地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、お客様の目的に応じた預金商品の開発とサービスの一層の充実を図っております。

預金積金残高は、前期比1,710百万円増加の81,083百万円となりました。

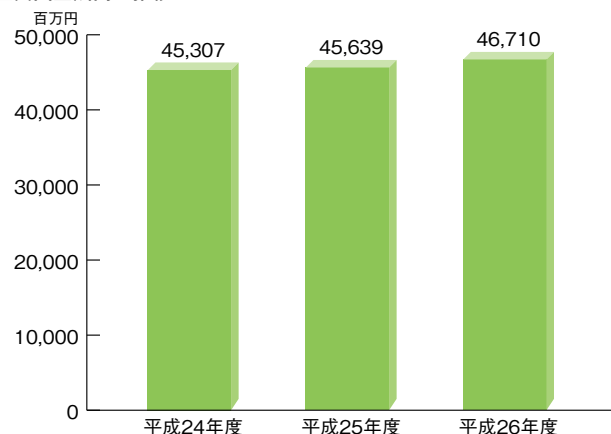
預金積金残高のうち個人預金が76.14%を占めております。

■ 預金者別預金残高の割合



## 貸出金の状況

■ 貸出金残高の推移



お客様の資金需要に積極的にお応えしております。

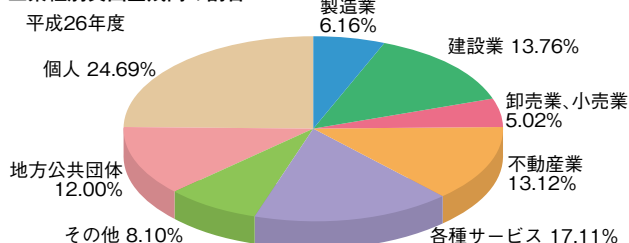
地元のお客様よりお預け入れいただいた大切なご預金は、地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

貸出金残高は、前期比1,071百万円増加の46,710百万円となりました。

特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

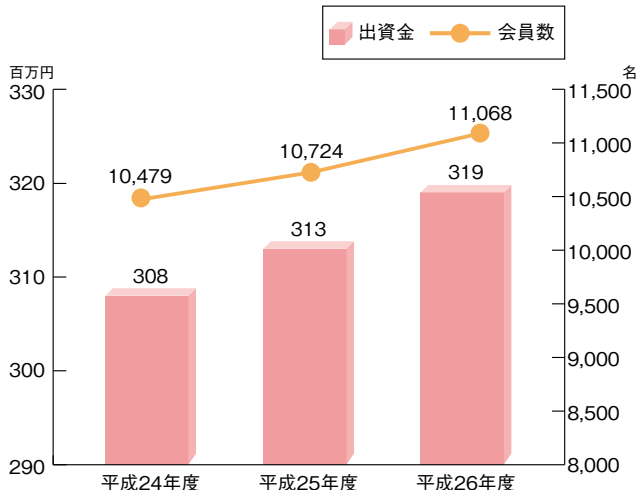
貸出金残高のうち、事業を営む事業者は63.31%、個人の方は24.69%を占めております。

■ 業種別貸出金残高の割合



## 会員の推移

■ 会員数と出資総額の推移

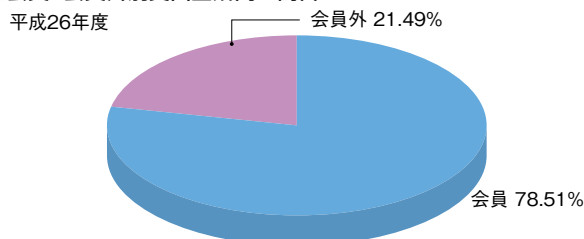


信用金庫は「会員制度」を基本とした地域金融機関です。当金庫会員は、会員数11,068名(出資金319百万円)で1万名を超え、北上市・西和賀町の人口99,748人(平成27年3月末)の1割超を占めております。

今後も、地域社会の発展のため、会員組織の一層の活性化を図ってまいります。

なお、出資1口(出資1口の金額500円)以上を有し、出資金は5,000円以上であることが会員資格要件のひとつとなっております。

■ 会員・会員外別貸出金残高の割合

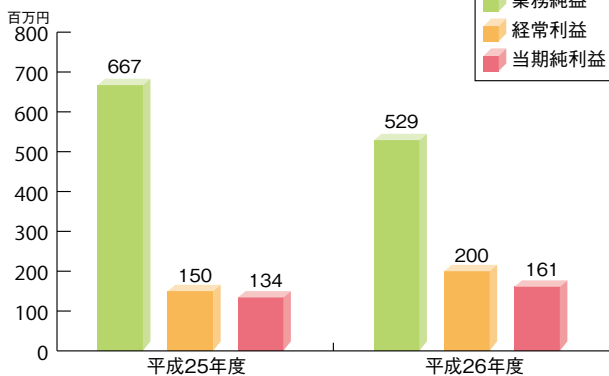




## 平成26年度の業績をご紹介します。

### 損益の状況

#### ■損益の状況

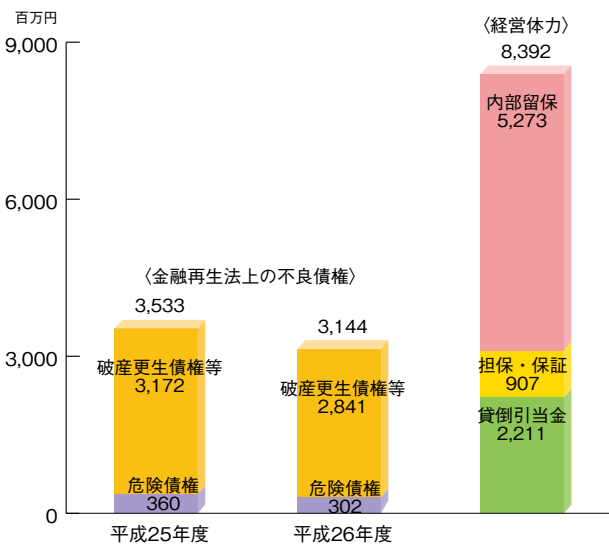


収益の状況につきましては、経常利益は200百万円、当期利益は161百万円となりました。本業の利益を示す業務純益は529百万円を確保し、安定した収益を上げております。

※「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。  
 ※「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。  
 ※「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

### 金融再生法ベースの債務者区分による開示

#### ■金融再生法ベースの債務者区分による開示



#### 資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期末比389百万円減少し、不良債権比率は1.01ポイント下降して6.71%となりました。

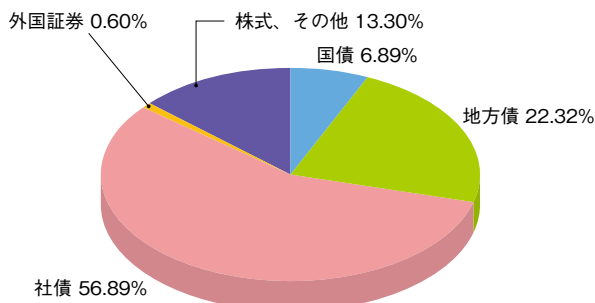
また、これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により99.20%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力8,392百万円によりカバーされております。

これら不良債権については、引き続き回収を図るよう取り組んでいるほか、お取引先の実態把握に努め、お取引先の経営改善に相協力して全力を挙げて取り組むことにより、資産の健全性向上に努めております。

※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。  
 ※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
 ※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。  
 ※「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

### 有価証券の時価情報

#### ■有価証券残高構成比



#### ■売買目的有価証券

該当ございません。

#### ■満期保有目的の債券

	平成26年度			
	貸借対照表計上額	差額	うち	
			うち益	うち損
満期保有目的の債券	3,099	132	138	6

(注) 1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
 2) 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

#### 市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

お客様からお預かりしております預金積金は、貸出金のほか有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債はじめ、社債等で運用しております。

#### ■子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

#### ■その他有価証券

(単位：百万円)

	平成26年度			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち	
			うち益	うち損
その他有価証券	13,493	652	690	38
株式	54	11	11	0
債券	11,296	453	491	38
その他	2,143	186	186	0

(注) 1) 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

2) 上記の「その他」は、投資信託及び信託中央金庫の優先出資証券です。

3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

#### ■時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

	平成26年度
	貸借対照表計上額
その他有価証券非上場株式	9

# 自己資本の充実の状況等について

## 自己資本の充実の状況

自己資本比率とは、リスク・アセット（総資産のうち、万が一の場合に貸し倒れの可能性がある資産、この資産に対して危険度に応じた割合を掛けて求めます。）に占める自己資本額の割合で、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

当金庫の平成27年3月期の自己資本比率（バーゼルⅢ）は16.49%で、国内基準の4%の4倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値8%を優に超える高い水準を維持し、十分な健全性を確保しております。

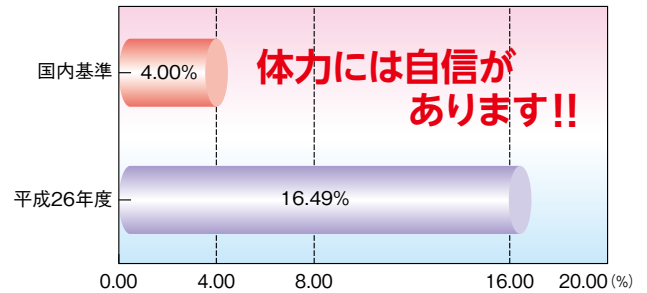
自己資本額は、前期比96百万円増加の5,593百万円となり、総所要自己資本額（リスク・アセット×4%）1,355百万円を大きく上回り、十分な健全性を維持しております。（自己資本額とは、出資金や過去の利益の積立金などです。）今後も、健全経営に徹し、自己資本の充実に努めてまいります。

### ■自己資本の構成に関する事項

（単位：百万円、％）

項目	平成25年度	経過措置による不算入額	平成26年度	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目（1）				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,361		5,516	
うち、出資金及び資本剰余金の額	313		319	
うち、利益剰余金の額	5,060		5,209	
うち、外部流出予定額（△）	12		12	
うち、上記以外に該当するものの額	△ 0		△ 0	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	118		78	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	118		78	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	17		15	
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	5,497		5,610	
コア資本に係る調整項目（2）				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	—	15	2	9
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものの以外の額	—	15	2	9
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	37	5	22
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	9	37
自己保有普通出資等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに該当するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に該当するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに該当するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に該当するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	—	—	17	—
自己資本				
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	5,497		5,593	
リスク・アセット等（3）				
信用リスク・アセットの額の合計額	31,429		31,122	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 2,608		△ 2,408	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）	15		9	
うち、繰延税金資産	33		22	
うち、前払年金費用	—		37	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 2,768		△ 2,517	
うち、上記以外に該当するものの額	39		39	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	2,731		2,775	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	34,160		33,898	
自己資本比率				
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	16.09%		16.49%	

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額}}{\text{信用リスク・アセットの額} + \text{オペレーショナル・リスク相当額} \div 8\%} \times 100$$

（コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額）  
（5,593百万円）

（31,122百万円） （2,775百万円）

### ■自己資本の充実度に関する事項

（単位：百万円）

	平成25年度		平成26年度	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ、信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	31,429	1,257	31,122	1,244
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	34,002	1,360	33,444	1,337
現金	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
国際決済銀行等向け	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—
国際開発銀行向け	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	60	2	140	5
我が国の政府関係機関向け	120	4	120	4
地方三公社向け	60	2	60	2
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	5,009	200	3,667	146
法人等向け	10,127	405	10,430	417
中小企業等向け及び個人向け	4,929	197	5,456	218
抵当権付住宅ローン	1,678	67	1,618	64
不動産取得等事業向け	958	38	962	38
3ヵ月以上延滞等	1,028	41	457	18
取立未済手形	3	0	2	0
信用保証協会等による保証付	699	27	697	27
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—
出資等	1	0	1	0
出資等のエクスポージャー	1	0	1	0
重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
上記以外	9,326	373	9,829	393
他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	4,614	184	4,614	184
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	311	12	311	12
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	446	17	415	16
上記以外のエクスポージャー	3,953	158	4,487	179
②証券化エクスポージャー	—	—	—	—
証券化（オリジネーター）	—	—	—	—
（うち再証券化）	—	—	—	—
証券化（オリジネーター以外）	—	—	—	—
（うち再証券化）	—	—	—	—
③複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	—	—	—	—
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	88	3	108	4
⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 2,768	△ 110	△ 2,517	△ 100
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	4	0	2	0
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
ロ、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	2,731	109	2,775	111
ハ、単体総所要自己資本額（イ＋ロ）	34,160	1,366	33,898	1,355

- （注）1. 所要自己資本の額＝リスク・アセット×4%  
2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。  
3. 「3ヵ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」（「国際決済銀行等向け」を除く）においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しています。

$$\text{＜オペレーショナル・リスク相当額（基礎的手法）の算定方法＞}$$

$$\frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×4%



# 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

## 「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」を踏まえた対応措置等の概要について

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に全力を傾注して取組んでおります。

これからも、地域から信頼される金融機関を目指すとともに、金融円滑化の推進に向けた取組みを一層強化してまいります。

### 対応措置の実施に関する方針の概要

#### (基本方針)

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。これらの対応措置の実施に関しては理事会で金融円滑化方針を決議の上、役職員一体となって取組んでおります。

#### (態勢整備)

当金庫は、取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

##### ① 態勢整備を図るため理事会等において決議した事項

- ・基本方針、金融円滑化管理方針および金融円滑化管理規程等の策定
- ・本部に金融円滑化管理責任者（担当理事）、営業店に金融円滑化管理担当者（副本支店長）及び相談窓口担当者等の配置

##### ② お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うための態勢整備

- ・中小企業相談支援チームを配置し、信用保証協会や中小企業再生支援協議会等との連携により支援に取り組んでおります。

##### ③ お客様の事業価値を見極める能力（目利き力）を向上させるための研修等

- ・毎年度、本部・営業店の融資担当職員を「目利き力養成研修」「企業再生支援実践講座」などの外部研修に派遣し目利き能力の向上に努めております。

### 貸付の条件の変更等の実施状況

平成21年12月4日から平成27年3月末までの累積実績は以下の通りです。

貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数

#### （中小企業のお客様向けの貸付債権）

	（単位：件）
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	件数
うち、実行に係る貸付債権	1,155
うち、謝絶に係る貸付債権	1,042
うち、審査中の貸付債権	70
うち、審査中の貸付債権	3
うち、取下げに係る貸付債権	40

#### （住宅資金お借入のお客様向け貸付債権）

	（単位：件）
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	件数
うち、実行に係る貸付債権	47
うち、謝絶に係る貸付債権	36
うち、審査中の貸付債権	5
うち、審査中の貸付債権	0
うち、取下げに係る貸付債権	6

## 金融ADR制度への対応

### 【苦情処理措置】

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業店（電話番号は裏表紙参照）または総務部（電話：0197-63-2307）にお申し出ください。

1. 苦情等のお申し出があった場合は、その内容を十分に伺ったうえで、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。

### 【紛争解決措置】

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記総務部または全国しんきん相談所（午前9時～午後5時、電話：03-3517-5825）にお申し出があれば、東京弁護士会（電話：03-3581-0031）、第一東京弁護士会（電話：03-3595-8588）、第二東京弁護士会（電話：03-3581-2249）の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会をご利用する方法もあります。例えば、東京以外の弁護士会において東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いる方法（現地調停）や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法（移管調停）があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫総務部」にお尋ねください。

# 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

## 地域密着型金融推進への取組み（平成26年4月～平成27年3月（平成26年度）の状況）

平成15年度以降、金融庁が取りまとめた2次にわたるアクションプログラムのもと、平成17年度から平成18年度を地域密着型金融推進計画の重点強化期間として、地域密着型金融の機能強化に向けた取組みを積極的に進めてまいりました。平成19年度以降についても引き続き、当金庫独自に地域密着型金融推進の計画を策定し、中小企業の経営の改善及び地域の活性化に取組んでおります。

### ① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- 中小企業相談支援チームを中心として支援先企業の経営改善に取組んでおります。
- 「経営者セミナー」「次世代経営塾」等を開催し、取引先企業の経営相談・支援機能の強化に努めております。

#### ■ 取組み内容の主なもの

- ・本部審査部と営業店の店長及び融資担当役席者で組織した中小企業相談支援チームが主体となり、支援先企業の経営改善の強化に取組みました。平成26年度は、支援先企業31先、うち12先を強化支援先に指定し、営業店と連携を図り支援に取組みました。また、外部機関も利用して経営改善に取組んでおります。（認定支援機関※13先、岩手県産業復興相談センター※21先、よろず支援拠点※3相談会5回開催）

#### ■ 平成26年度地域密着型金融推進の取組み実績

（単位：先）

期初 債務者数 A	うち経営改善 支援取組み先数 B	うちランクアップ 先数 C	うち再生計画 策定先数 D	経営改善支援 取組み率 B/A	ランクアップ率 C/B	再生計画策定率 D/B
1,082	31	1	31	2.8%	0.0%	100.0%

（単位：先）

創業・新事業支援融資先数	6	中小企業再生支援協議会の活用 (再生計画策定先数)	3	よろず支援拠点活用	23
認定支援機関による補助金の活用 (ものづくり補助金・創業補助金)	7				

- ・ふるさと納税制度を活用した販路開拓や、取引機会拡大等の支援を図るため平成26年8月にふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を企画・経営する（株）トラストバンクより講師を招き「ふるさと納税セミナー」を開催しました。また、同制度の活用による地域活性化を柱とした地方公共団体と地域金融機関の連携として、全国初の取組みとなる「地域経済活性化に向けた包括連携協定」を平成26年9月に北上市と、同11月に西和賀町と締結しました。



北上市との地域経済活性化に向けた包括連携協定調印式



西和賀町との地域経済活性化に向けた包括連携協定調印式

- ・工業系製造業者の取引機会の拡大を目的として、平成26年4月に（株）イブロスと連携し、同社が運営する製造業製品・技術データベースサイトを活用した支援に取組んでおります。（登録件数16先）
- ・「第5期 きたしん次世代経営塾」の勉強会を6月、7月、9月、11月の4回開催したほか、「ビジネスマッチ東北2014」の視察や懇親会を実施しました。また、国内各地で開催されたビジネスマッチ等取引先企業と一緒に積極的に参加し、販路拡大等の支援を行ったほか、10月には「経営者セミナー」を開催し、取引先企業の経営相談・支援機能の強化に努めました。



第5期 きたしん次世代経営塾



ビジネスマッチ東北2014視察



経営者セミナー

- ※1 認定支援機関～中小企業・小規模事業者が安心して経営相談等が受けられるために、専門知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が認定する公的な支援機関のことです。具体的には、商工会や商工会議所など中小企業支援者のほか、金融機関、税理士、公認会計士、弁護士等が主な認定支援機関として認定されています。
- ※2 岩手県産業復興相談センター～東日本大震災により被害を受けた事業者の事業再開・事業再生を支援するために設置された公正中立な公的機関のことです。
- ※3 よろず支援拠点～中小企業庁の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に基づき整備するもので、「中小企業・小規模事業者のための経営相談所」として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応しております。



## ② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 中小企業の活力増進を目的とした「経営者保証ガイドライン」への適切な対応や不動産や第三者保証人等に過度に依存せず、定性情報を含めた地域での情報を活かして、取引先企業の事業価値を見極めた融資等の推進に取り組んでおります。
- 取引先企業のそれぞれの状況に応じた資金調達が多様化（ABL（動産・債権譲渡担保融資）、私募債等の活用）に取り組んでおります。
- 取引先企業の事業価値を見極める能力を向上させるため、各種研修への参加や研修の伝講会等を通して人材育成に取り組んでおります。

- ・「ものづくり補助金」「創業補助金」等の補助金制度の申請手続き支援を行い、資金需要の創出と融資推進に取り組みました。（ものづくり補助金採択4件、創業補助金採択2件）
- ・職員の能力向上・人材育成を図るため全国信用金庫協会や東北地区信用金庫協会、岩手県信用金庫協会等が主催する外部研修に職員を派遣したほか、派遣した職員による伝講会を実施し、取得知識、手法の共有化を図りました。また、当金庫内の取組みとして若手職員を対象とした「融資スキル勉強会」を7回開催しました。

## ③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 「西和賀町地域振興支援事業」への参画、「市政懇談会」等の開催や各種地域事業への協力等により、地域経済全体を展望したビジョン策定への積極的支援等を行い、地域で積極的な役割を果たしてまいります。
- 地域の次世代を担う世代や金融犯罪の標的になりやすい高齢者などへの「金融教育」実施による地域社会への金融知識の普及や、多重債務者への金融相談等に取り組んでおります。

- ・平成27年1月に「北上信用金庫市政懇談会」を開催しました。市政懇談会は平成7年より継続して開催しております。北上市長高橋敏彦氏より「北上市政の現状と展望」と題して講演をいただき、ご参加いただいた取引先企業との間で地域の諸問題・課題等について意見交換を行っております。
- ・西和賀町地域支援事業として、観光施策に取り組む団体「西和賀町777会議」を立ち上げ、当金庫も参加して毎月1回事務局会議並びにテーマを絞った「山菜活用部会」、「湖面活用部会」、「紅葉活用部会」等の各部会の運営のお手伝いをしております。平成26年度は「山菜フェスタ」、「錦秋湖50周年記念事業・いかだ競争」「にしわが春出し競争2015」の開催協力を行っております。



北上信用金庫 市政懇談会



山菜フェスタ



錦秋湖50周年記念事業・いかだ競争



春出し競争2015

- ・金融教育の一環として、当金庫独自の事業であるマネースクールを開催したほか、北上青年会議所主催の「鬼っジョブ～北上おしごとパーク」へ市内金融機関として唯一出展し、地域社会への金融知識の普及に努めました。また、8月と12月の年金支給日に全店のATMコーナーに職員を配置して見回りを強化し、窓口においてもパンフレット等を配布して金融犯罪未然防止の注意喚起を行いました。
- ・平成27年1月に西和賀スキー協会が主催し、当金庫も共催している「西和賀ジュニア・湯田カップジュニアスキー大会」に参加する選手が着用する『ビブス』200枚を、独立行政法人日本スポーツ振興センターとタイアップし、西和賀町スキー協会へ贈呈しました。地域におけるスポーツ環境の整備充実など、スポーツの普及・振興に貢献する活動を行っております。



しんきんマネースクール  
(専修大学北上高等学校)



北上青年会議所主催  
「鬼っジョブ～北上おしごとパーク」



西和賀町スキー協会への  
『ビブス』贈呈式



# 北上信用金庫と地域社会～地域社会の発展と活性化をめざして～

## 当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、北上市、西和賀町を重点事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助の金融機関で、地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

### 地域経済活性化のための お客様（会員様）へ の融資

地元のお客様よりお預け入れいただいた大切な預金・積金は、地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

### 事業者のお客様

円滑な事業継続のための事業資金

**DATA**  
設備資金  
11,455百万円  
運転資金  
18,110百万円

### 個人のお客様

車購入・教育等様々なニーズ  
にお応えする消費者ローン

**DATA**  
3,601百万円

皆様の安定した暮らしの礎  
に住宅関連資金

**DATA**  
7,934百万円

**会員数 11,068人**  
お客様（会員様）

預金・積金

出資金

**DATA**

預金・積金  
81,083百万円  
出資金  
319百万円

**DATA**

貸出金  
46,710百万円  
貸出率 57.60%

### 平成26年度決算状況

業務純益	529百万円
経常利益	200百万円
当期純利益	161百万円
自己資本比率	16.49%

**北上信用金庫**



常勤役職員数 108名  
店舗数 9店舗

貸出金

地域貢献

### 地方公共団体

北上市・西和賀町において道路整備事業・公園整備事業など公共施設の整備に活用される形で、地元の皆様に還元しております。

**DATA**  
5,607百万円

**DATA**

預け金  
24,007百万円  
有価証券  
16,603百万円  
預証率 20.47%

支援サービス

その他運用

### 支援サービス

中小企業相談支援チームを設置し、お客様と親身になって話し合い、「企業再生」「創業支援」に向けて、金銭面だけではなく、生きた支援を心がけております。

お客様からお預かりした資金の一部を有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債はじめ社債等で運用しております。

※データはすべて、平成27年3月末現在のものです。



# 地域貢献活動への取り組み

## 地域行事への参加・協力

北上の夏を彩る「みちのく芸能まつり市民パレード」への参加。  
各地域の諸行事への積極的な参加・協力。



みちのく芸能まつり市民パレード



アンパンマン握手会

## 地域の未来を担う子供たちの健やかな成長を願って

少年サッカー大会、ソフトテニス大会、西和賀ジュニアSLスキー大会、野球部による少年野球教室、よいこのお絵かき大会、しんきんマネースクールの開催。



北上信用金庫杯少年サッカー大会



北上信用金庫杯ソフトテニス大会



きたしん文化講演会

## 異業種交流・親睦を図る場の提供

きたしん会（きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会）・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、ゲートボール大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。



北上信用金庫ゴルフ大会

## 交通安全、環境への取り組み

街頭での交通安全指導、地域の清掃活動・花壇の植栽活動 西和賀町スノーバスターズボランティア等



西和賀町スノーバスターズボランティア

## ◆トピックス

平成26年	4月29日	第12回北上信用金庫杯少年サッカー大会（北上総合運動公園）（参加16チーム、247名）
	6月 2日	サマーキャンペーン期間限定定期預金「サマー2014」取扱い～8月29日
	6月 6日	総代モニター会（プランニュー北上）（出席48名）
	6月12日	第5期「きたしん次世代経営塾」開講式 第1回勉強会（プランニュー北上）
	6月13日	第66回通常総代会（プランニュー北上）（出席56名）
	7月 8日	平成25年度決算報告会（職員）（北上オフィスプラザ）
	7月13日	第40回北上信用金庫ゴルフ大会（栗駒ゴルフ倶楽部、表彰式：ホテルシティプラザ北上）
	7月15日	平成25年度決算報告会（北上市様）（プランニュー北上）
	7月17日	第5期「きたしん次世代経営塾」第2回勉強会（北上オフィスプラザ）
	7月23日	平成25年度決算報告会（報道機関様）（ホテルシティプラザ北上）
	7月26日	東北地区信用金庫協会野球大会（男鹿総合運動公園野球場）～27日
	7月28日	平成25年度決算報告会（西和賀町様）（ホテル対滝閣）
	8月 1日	「よいこのお絵かき大会」各店ロビー～22日 北上みちのく芸能まつり市民パレード参加 本通り商店街夏祭り歩行者天国にて、アンパンマン握手会開催
	8月 5日	城南信金主催「2014「よい仕事おこしフェア」」（東京国際フォーラム）～6日（当金庫お取引先出展企業2先、現品のみ1先）
	8月15日	「振込め詐欺」被害防止運動（全店）
	8月20日	ふるさと納税セミナー開催（さくらホール、湯夢プラザ）（参加39名）
	8月23日	第27回北上信用金庫OB会定期総会・決算報告会（プランニュー北上）
	9月11日	第5期「きたしん次世代経営塾」第3回勉強会（北上オフィスプラザ）

	9月16日	きたしん健康友の会旅行「大分・熊本・長崎・佐賀 周遊3泊4日の旅」～19日（参加33名）
	9月17日	北上市と「地域経済活性化に向けた包括連携協定」を締結
	10月 1日	きたしん地域応援ローン取扱開始
	10月 3日	経営者セミナー（ホテルシティプラザ北上）（聴講者103名） 講師：一般社団法人 日本クレーム対応協会代表 谷 厚志氏 演題「お客様の怒りを笑顔に変える」クレーム対応セミナー
	10月20日	総代懇談会開催（本店・北上駅前支店・東支店総代）（ホテルシティプラザ北上）
	10月21日	総代懇談会開催（常盤支店・大塚支店・むらさきの支店総代）（ホテルシティプラザ北上）
	10月22日	第21回きたしん文化講演会（さくらホール）（聴講者1,292名） 講師：三遊亭円楽氏 演題「笑いは心の栄養剤」
	10月23日	総代懇談会（西和賀支店の総代）（ホットハープ錦秋）
	10月29日	総代懇談会（藤根支店、柳原支店総代）（黄金荘）
	11月 6日	ビジネスマッチ東北2014（夢メッセみやぎ） （当金庫お取引先出展企業7先、視察22名）
	11月12日	東京都信用金庫協会主催「信金発！地域発見フェア」（東京ドーム）～13日（当金庫お取引先出展企業1先）
	11月17日	「西和賀町と地域経済活性化に向けた包括連携協定」を締結
	11月27日	第5期「きたしん次世代経営塾」第4回勉強会（プランニュー北上）
	12月 1日	期限限定定期預金「きたしん地域応援定期預金」取扱～1月30日
	12月15日	「振り込め詐欺」被害防止運動（全店）
平成27年	1月 9日	北上信用金庫市政懇談会（ホテルシティプラザ北上）（参加283名）
	1月18日	岩手県信用金庫協会主催旅行「初夏の島・ハワイ島・オアフ島2島周遊6日間の旅」～23日（参加29名）
	2月15日	第14回北上信用金庫杯ソフトテニス大会（北上総合体育館） （中学校：参加37組74名、小学校：参加5組10名）
	2月18日	しんきんマネースクール（専修大学北上高校）（受講者76名）



北上信用金庫は、西和賀町を応援しています。



## 充実したネットワーク

### 店舗のご案内

※北上信用金庫金融機関コード「1154」（全店共通）

<b>本店</b> (店番号001)	
〒024-0094 北上市本通り1-5-30	TEL 0197-63-2307
<b>藤根支店</b> (店番号002)	
〒024-0073 北上市下江釣子11-75-3	TEL 0197-73-5231
<b>西和賀支店</b> (店番号003)	
〒029-5512 和賀郡西和賀町川尻40-40-50	TEL 0197-82-2220
<b>常盤台支店</b> (店番号004)	
〒024-0012 北上市常盤台2-13-28	TEL 0197-63-6171
<b>大堤支店</b> (店番号005)	
〒024-0055 北上市大堤南1-4-23	TEL 0197-67-2332
<b>北上駅前支店</b> (店番号006)	
〒024-0061 北上市大通り2-3-4	TEL 0197-65-3281
<b>柳原支店</b> (店番号007)	
〒024-0083 北上市柳原町2-1-54	TEL 0197-63-2244
<b>むらさきの支店</b> (店番号008)	
〒024-0004 北上市村崎野15-268-4	TEL 0197-66-3133
<b>東支店</b> (店番号009)	
〒024-0022 北上市黒沢尻2-4-13	TEL 0197-63-8511

### 店外キャッシュコーナー

さくら野北上店	北上駅 (共同)
北上済生会病院 (共同)	江釣子ショッピングセンター
ビッグハウス北上店 (共同)	北上金属工業協同組合
アメリカンワールド (共同)	岩手県立中部病院 (共同)
サンクス北上藤根店	岩手東芝エレクトロニクス (共同)
スーパーオセン北上店 (共同)	湯本出張所
北上オフィスプラザ (共同)	沢内出張所 (共同)
ジョイス北上鬼柳店 (共同)	

### 西和賀町のキャラクター



カタクリンコちゃん



西ワラビ君



奥山ゼンマイ君

### 北上信用金庫の概要

(平成27年3月末現在)

名称…北上信用金庫
(英文名称: The Kitakami Shinkin Bank)
創立…昭和23年9月3日
常勤役職員数…108名 (うち常勤役員6名)
店舗数…9店舗
総資産…88,561百万円
資金量…81,083百万円
常勤役職員1人あたりの資金量…750百万円
出資金…319百万円
会員勘定…5,528百万円
自己資本比率…16.49%
会員数…11,068名



〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号  
TEL 0197-63-2307 (代)  
ホームページアドレス <http://www.kitakami.ne.jp/~shinkin/>  
e-mail [shinkin@kitakami.ne.jp](mailto:shinkin@kitakami.ne.jp)